ボランティア新聞

発行日 2014年8月12日

元気な子どもたちと ふれあい

私は8月1日に福祉会館のかまわりルームで、「ちょボラ」に参加しました。「ちょボラ」とは、ちょっとしたボランティアのことで、今年もわくわくタイムを見て、参加したにもかかわらず、緊張をしてしまって、はじめはどうすればよいか分かりませんでした。でも、保育士の方が、「もっと自分から行ったらいい。」と、声をかけて背中を押して下さった。

わくわくタイムは、3歳・4歳以上で保育園入園前の幼いこどもと一緒に遊ぶものです。おもちゃで遊びます。それを、保護者の方が見守りながら一緒に遊んだり、たまに保育士の方に子育ての悩みを相談したりもするみたいです。でも、子どもと親がふれあうことを目的にされています。

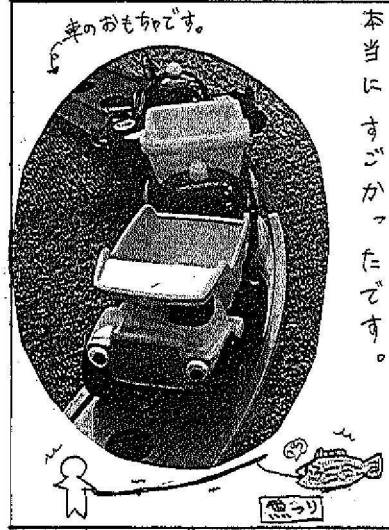
私は何回かこのボランティアに参加したにもかかわらず、緊張をしてしまいました。

毎回保育士の方々がいろいろなことを考えて下さっています。今回もいろんなことをしました。

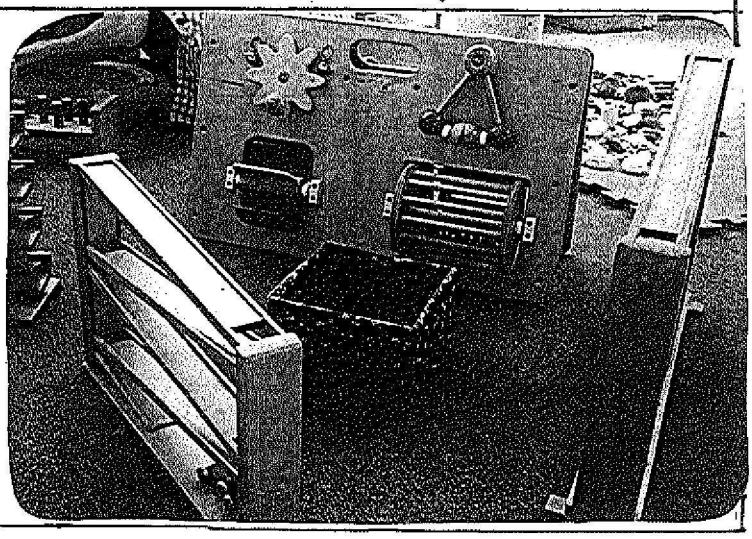
始めは私も保育士の方も来て下さった子どもたちと保護者の方たちとふれあいます。子どもたちは、トランポリンやおままごとなど、いろいろなおもちゃで遊ぶことの他にも、いろいろなことをしました。まずは、体操をしました。振り付けにアンパンマンのパンチやキックが入っていてすごく楽しそうでした。

そのあとは、ブルーシートをひいて次に魚釣りをするために、みんなで『おえかき』をしました。できた絵を私に見せてきてくれた子もいたので、とてもうれしかったです。みんなが上手に描けていてすごいなと思いました。

そして、みんなで『はじまりのうた』を歌ってから、私は絵本を読みました。読んだ本は、いろんな形や色についてでしたが、動物が出てくると「きりんだ！」とか、「ぞうだー！」と言ってくれる子もいました。でもそのあと、保育士の方の読み方を聞くと、とても話に入りやすくて、分かりやすくて本当にすごかったです。



いろいろな遊び

感想

私はこのボランティアをして、いろいろな体験ができました。子どもたちと歌を歌ったり、いろんな手遊びをしたりしました。そして、最後には『ハイタッチ』をしてお別れをすることが、とてもうれしかったです。大勢の前で本を読むことは、あまりしたことがなかったのでとても緊張しました。でも、保育士の方々からいろんなことを学んだり、子どもたちとふれあうことができて本当に、楽しい一日となりました。